

令和5年度 中高生NPO体験セミナー実施報告書

令和5年8月31日
菊川市市民協働センター



◆目次

I	中高生体験セミナーについて	P.1
II	各体験セミナー紹介	P.2～7
III	学校・セミナー別参加人数一覧	P.7
IV	参加者アンケート結果	P.8～19
V	実施団体アンケート結果	P.19～24
VI	所感	P.25

1. 中高生NPO体験セミナーについて

1) 実施目的

次世代を担う中高生たちが NPO の活動を体験することで、社会貢献意識を高め、若者参加の地域づくりのきっかけにする。

2) 期待される効果

〈中高生〉

ボランティア体験を通し、自己の新たな可能性や菊川の魅力に気づくきっかけにする。また、NPO 法人の職場を体験することによって、進路選択の幅を広げる。

〈NPO法人〉

専門性や先駆性を活かした学習や体験を盛り込んだ内容を実施することで、次世代の人材育成の一助を担う。

3) 実施概要



開催期間	7月22日(土)~8月22日(日)
セミナー数	12セミナー
申込人数	延べ41人
主催	菊川市市民協働センター
共催	菊川市内NPO法人 12団体

II. 各体験セミナー紹介

1) 災害救助犬の訓練体験

実施団体	認定特定非営利活動法人 災害救助犬静岡
日時	①2023年7月22日(土) 15:00 ~ 17:00 ②2023年7月29日(土) 15:00 ~ 17:00 ③2023年8月5日(土) 15:00 ~ 17:00
場所	災害救助犬静岡訓練所
参加者数	9名
活動内容	<ul style="list-style-type: none">・ 災害救助犬の座学と施設の簡単な説明・ 訓練風景の見学・ 犬とのふれあいや、写真撮影、お礼の挨拶  

2) 情報発信のコツを知って、記事を作成しよう

実施団体	NPO法人アートコラールきくがわ
日時	①2023年7月31日(月) 13:00 ~ 16:00
場所	プラザきくる2階
参加者数	3名
活動内容	<ul style="list-style-type: none">・ インタビューや情報発信のコツを学ぶ・ 虹の架け橋教室にインタビュー・ 記事の作成  

3) 馬とのふれあい体験会（お仕事体験）

実施団体	NPO法人うまのあと
日 時	①2023年 7月 29日（土）15:30 ～ 17:30 ②2023年 8月 5日（土）15:30 ～ 17:30
場 所	倉沢ラブリna牧場
参加者数	2名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・馬の接し方・馬小屋の掃除・馬のお手入れ・馬の運動(乗馬体験有り) ・馬へのご褒美(エサ作り、エサやり)・草刈り等
	 



4) 次世代人材育成講話～ 「傾聴」の理解を深める ～

実施団体	NPO法人傾聴・お話しボランティア
日 時	①2023年 8月 4日（金）9:15 ～ 11:30
場 所	松秀園（しょうしゅうえん）
参加者数	1名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアについての講話 社会人として地域に寄与することの意義を考える。 ・傾聴についての講話
	 



5) 里山の森を守る保全活動（竹の伐採と伐採竹の活用）

実施団体	NPO法人里山再生クラブ
日 時	①2023年 8月 4日（金） 9:00 ～ 11:30
場 所	市民協働センター、東横地地区の竹伐採地
参加者数	5名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 竹のお話し ・ 竹伐採、竹粉碎 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>


6) 外国人の子どもたちへの日本語サポート

実施団体	NPO法人 静岡県教育フォーラム
日 時	①2023年 7月 28日（金） 10:00 ～ 15:30 ②2023年 8月 4日（金） 10:00 ～ 15:30
場 所	虹の架け橋 菊川小笠教室
参加者数	4名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語学習サポート、算数の学習サポート ・ 子どもたちと一緒に遊ぶ ・ 日本の文化や学校の様子、過ごし方を子どもたちに話す <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>

7) デイサービスで世代間交流

実施団体	小規模多機能ホーム ようこそ
日 時	①2023年 8月 7日 (月) 13:30 ~ 16:30 ②2023年 8月 14日 (月) 13:30 ~ 16:30
場 所	小規模多機能ホーム ようこそ
参加者数	1名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者との交流（レクリエーション活動、話し相手など） ・日常生活のサポート（3時のおやつの準備など） ・施設内の清掃 ・行事（納涼祭）の手伝い
	 


8) 保育の職場体験

実施団体	特定非営利活動法人 生活支援施設かすみ草
日 時	① 2023年 8月 22日 (火) 8:30 ~ 11:30
場 所	生活支援施設 かすみ草
参加者数	4名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児保育：保育士の仕事を体験し、乳幼児との接し方を学ぶ ・ 学童保育：小学生との活動（遊び・学習）を通して、小学生との接し方を学ぶ ・ 学習塾：勉強を教えることを体験し、その方法を学ぶ ・ 全体を通して、コミュニケーションの大切さを学ぶ。
	 



9) せんがまちで畦草刈りと生き物教室の体験

実施団体	NPO法人せんがまち棚田倶楽部
日時	① 2023年 8月 5日 (土) 9:00 ~ 12:00
場所	倉沢の棚田「せんがまち」 (集合：上倉沢公会堂)
参加者数	1名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「せんがまち」の棚田で静大棚田研究会の学生と一緒に畦草刈り体験 ・ 棚田に住む貴重な生き物を知る「生き物教室」 (元高校の生物教師 堀尾先生が担当) <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>

10) ブラジル人の子どもの日本語教室

実施団体	NPO法人ソヒゾ・デ・クリアンサ日伯交流協会
日時	①2023年 8月 21日 (月) 13:30 ~ 16:00 ②2023年 8月 23日 (水) 13:30 ~ 16:00
場所	シ・イ・ソヒゾ・デ・クリアンサ ブラジル学校
参加者数	8名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブラジル人生徒が日本語を学習する様子を見学する。 ・ 日本語の能力にあわせて2クラスに分かれており、授業のお手伝い (会話など) や日本語のカルタを一緒に楽しんで会話をしてもらう。 <div style="text-align: right;">  </div>

12)障がい者と防災

実施団体	NPO法人COCO
日 時	① 2023年 8月 7日 (月) 10:00 ~ 12:00
場 所	となりのCOCO
参加者数	3名
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災グッズの点検・整理 ・ 車イス、アイマスク体験 ・ 災害と障がい者をテーマに当事者の方と一緒に考えるディスカッション
	 

III.学校・セミナー別申込人数一覧

No.	学校	人数
1	小笠高等学校	17
2	常葉大菊川高等学校	8
3	中学校	5
4	その他高校	2
	総計	32

IV.参加者（中高生）アンケート結果

1.本日のセミナーに参加しようと思ったきっかけや理由を教えてください。

認定NPO法人 災害救助犬静岡

- ・ ニュースで小型犬が活躍しているのを見たことがあり、興味があった。
- ・ 自宅で犬を飼っており災害救助犬の犬がどのような行動をしているのか見学してみたかった。
- ・ 犬に興味があったから。
- ・ 最近災害が多くあり、その救助をどのようにしているのか気になったから。
- ・ ボランティアに興味を持ち災害救助犬を知ったから。
- ・ 私はチワワを飼っていてもともと犬が好きだったので、世間の役に立っている犬が気になったから。
- ・ 犬が凄く好きで興味があるから。
- ・ いろんな知らないことを知りたかったから。
- ・ 災害救助犬のことをあまり知らなかったから。
- ・ いつも犬の仕事を見るのでやってみたかった。
- ・ 災害救助犬はどんな訓練をしているのか興味があった。
- ・ ドラマなどで見ていて興味を持った。
- ・ 救助犬に興味を持って、どんな訓練をしているのか知りたかった。
- ・ 犬が頭に過ぎて自分で体験したくなった。

NPO法人 アートコラールきくがわ

- ・ 情報発信のコツを知りたかった。
- ・ 苦手な情報を少しでも理解しようと考えた。
- ・ まちスクの一環として情報発信をしたかったから。また、プレゼンでの資料の作り方を学びたかった。

NPO法人 うまのあと

- ・ 動物が好きだから。
- ・ NPOのボランティア活動に毎年参加しているので今年も参加したいと思った。その中でも馬に興味があったのでぜひ参加してみたいと思った。

NPO法人 傾聴・お話しボランティア

- ・このセミナーのお知らせを見て傾聴に興味を持ったから。進路に役立つことを学べそうだと
思った。

NPO法人 里山再生クラブ

- ・菊川まちづくり部に参加しており、放置竹林や竹の活用について学びたいと思った。
- ・放置竹林の問題について話を伺ったことがあり、興味があったことと、実際に放置竹林に関
する活動に参加してみたかった。
- ・まちスクでNPO活動に参加してみようというきっかけがあり、色々なことをやってみたいと
いう気持ちがあった。
- ・まちづくり部の「しぜんたい」がやろうとしている「竹をつかって灯籠をつくる」に基づい
て竹の伐採を実際に体験し、この活動に活かそうと思った。
- ・菊川まちづくり部で考えた企画「竹のキャンドル作り」で今回のセミナーで役に立てそうな
ことを探したかった。
- ・ノコギリの使用方法を学びたかった。
- ・まちづくりのグループの中で竹を使うことになり、竹について知る必要があった。
- ・NPO体験の中で一番興味を持った。

NPO法人 静岡県教育フォーラム

- ・中高生まちづくりスクールのプロジェクトに参考にしたかった。
- ・外国語を活かして子どもたちの役に立ちたかった。昔、通っていた日本語教室の現状をみて
解決できることを見つけたかった。
- ・より子ども達にも充実した日々ができるような提案をしたかった。
- ・外国の子どもたちがまだ知らない国に来て大変なことが多くあったと思うので、少しでも日
本になれてもらいたい。
- ・他ではできない体験で気付けることがあると思ったから。
- ・英語を話すことが得意で、誰かに教えること好きだから。

NPO法人 小規模多機能ホームようこそ

- ・中学になって人とかわかりが欲しかったり、老人の人のかわかりが欲しいから。

NPO法人 生活支援施設かすみ草

- ・将来保育士を目指していて、保育の現場とはどういう感じなのか実際に体験してみたかった。
- ・保育士を目指していて保育系の大学への進学を考えているため、少しでも保育について学んだり、体験したりしたいと思った。
- ・将来保育士を目指していて、子どもたち関わるボランティアがやりたかった。
- ・将来保育士になろうと思っているから。
- ・子供が好きだから。

NPO法人 せんがまち棚田倶楽部

- ・自然環境に興味があり、学校でこのようなボランティアを募集していたから。

NPO法人 ソヒゾ・デ・クリアンサ日旧交流協会

- ・姉が参加するとなっていて興味があった。
- ・学校で募集があって興味があった。
- ・他の国の子どもと話してみたいと思った。
- ・外国の子ども達と関わりたかった。
- ・他国のこと関わってみたいと思った。
- ・日本のブラジル学校の風景を見たかったり、子どもたちを知って話を役にして役に立ちたかった。
- ・ポスターを見た時にぜひ行ってみたいと思った。
- ・ブラジル人学校を見てみたかったのと、生徒さんとお話ししてみたかった。
- ・ポスターを見ていきたいと思った。
- ・ブラジルの人とお話ししてみたいと思った。
- ・昨年学校で、菊川に住む外国の方の生活や感じていることなどについて沢山調べ、きくるでの発表（プレゼン大会）をした。その時、こちらの学校へ訪問させて頂く予定だったが、冬休みに入ってしまい、うまく連絡を取ることが出来なくて実現できず、今回このような機会があったことを知りやってみてみたいと思った。

NPO法人 C O C O

- ・静岡は何年後かに自信がくるので、災害について知っておきたかったから。

- ・障害について知りたかったから。
- ・妹が障害を持っていて17年間共に過ごしてきた色々な困難などがあり、このような世の中を変え、障がい者が過ごしやすいまちづくりを将来やりたいと思っている。その一つとして今回参加させていただいた。
- ・障害当事者との交流と災害時への対応についての啓蒙。

2. 本日のセミナーの感想はいかがでしたか？

～とても満足の理由～

認定NPO法人 災害救助犬静岡

- ・姿が見えない要救助者を警察犬とは違い匂い、風に運ばれてくる匂いを感知し、たどっていくという事を聞き、私の周りをぐるぐる回ってたどってくれたから。
- ・災害救助犬の方が親切に接して頂き安心して活動出来た。
- ・一つ一つ丁寧に教えてくださり分かりやすかった。
- ・実際に体験し、とても楽しく学ぶことができた。
- ・普段ふれあえない犬とふれあうことができた。
- ・犬がかわいかった。
- ・知らないことをたくさん知れた。
- ・皆さんとても優しく分かりやすい説明をしてくれた。

そして、私たちの安全を確かめながら進めた。

- ・色んなことを学び楽しかった。
- ・実際に災害救助犬が人を見つけるところを見られたことや災害救助犬について知れた。
- ・色んなことを知り、色々体験できて凄く良かった。
- ・説明が分かりやすくて、犬の説明もしたのでいいと思った。

NPO法人 アートコラールきくがわ

- ・虹の橋について色々知れた。
- ・子ども達と沢山遊べた。
- ・まちスクと絡めての情報を得られた。
- ・刺激をもらえた。

NPO法人 うまのあと

- ・馬のことを知れた。
- ・馬に乗れた。
- ・餌やりなどだけでなく、馬の特徴や手入れの仕方など経験できないことも学ぶことができた。

NPO法人 傾聴・お話ボランティア

- ・役立つお話、経験談などの貴重なお話をたくさん聞いた。

NPO法人 里山再生クラブ

- ・放置竹林の整備についての話は伺っていたが、実際に体験できたことで活動の大変さや必要性について改めて気づかされた。
- ・今回のセミナーでの体験や気づきを菊川まちづくり部での活動に役立て多くの人に放置竹林の問題を広められると感じた。
- ・久しぶり（7年ぶり）に竹を切る機会が訪れて体を動かしながら地域に貢献できた。
- ・協力しながら何かをすると、目的があって話しかけやすいという事を知ることができた。
- ・実際にやってみて、竹の伐採の大変なところや切って広くなっていくやりがいを感じいい体験になった。
- ・ノコギリを使うのは始めてだったけど、いざノコギリを使ってみると刃が止まったりブレたり大変だった。
- ・竹について多くのことを知れた。 例) 竹の切り方、片づけ場所の置き方等
- ・自然に関わられた。
- ・ノコギリの扱いに慣れてしまえば楽しく切れると思った。

NPO法人 静岡県教育フォーラム

- ・企画を行うことができたので、まちスクで感じた課題を考えていきたい。
- ・子どもたちと勉強したり遊んだりとても楽しかった。
- ・外国人の子どもに教えたり、話したりして楽しいと思った。
- ・子ども達とふれあえて楽しかった。

NPO法人 小規模多機能ホームようこそ

- ・利用者の方が優しい人かどうか心配だったけど来てみて凄く楽しく出来た。

NPO法人 生活支援施設かすみ草

- ・保育士さんが子供たちにどのような対応をしているのか学ぶことができた。
- ・子ども達と関わるうえで、学校で3年間学んできた内容がとても役に立ちました。例えば折り紙の折り方、紙芝居の読み方、子供と関わるうえで注意することなど学校で得た知識が実習を通して意味のあるものであったと感じることが出来た。
- ・子ども達と関わり自分たちの目的を達成でき経験が一つ増えたから。

NPO法人 せんがまち棚田

- ・実際にせんがまちに住んでいる生き物に触れあうことが出来、静岡大学の棚田研究部の方とお話できたのですごくいい経験になった。

NPO法人 ソヒゾ・デ・クリアンサ日旧交流協会

- ・いろんなブラジル人と楽しく会話することができたから。
- ・みんなと楽しく話せし、ゲームも一緒にできたから、とっても楽しかった。
- ・子ども達が凄く優しかったから。
- ・みんな仲良く接してくれた。
- ・たくさんの人と話をする事が出来て、いろんな人を知って良かった。
- ・日本語を学ぶために頑張っている子どもがたくさんいて良かった。
- ・日本語の勉強をがんばっている生徒さんの手伝いをすることが出来、話も沢山することができた。
- ・学校の雰囲気も良く、プログラムを楽しくできた。
- ・教室の子と話せて楽しかった。
- ・日本語を教えてみてちょっとのことだけど自分もあっているのか不安になったりして、日本語の難しさも感じながらみんなと一緒にできて楽しかった。

NPO法人 COCO

- ・防災について詳しく教えてもらったり、車いすのことだったり視覚障がい者の体験ができとても充実した2時間だったから。
- ・災害が起きた時に備えていると便利なものを教えていただき、さらに車いすの運転の仕方を

体験を通して丁寧に教えていただいたり、目の見えない人の体験をさせていただいたりしことで「怖さ」「不安さ」に気付くことができたから。

～やや満足の理由～

NPO法人 生活支援施設かすみ草

- ・おままごとの時に話しかけても、こどもの反応が無かったから。

3. 特に印象に残ったこと、気づきや学び、今後に活かせそうなことをご記入ください。

認定NPO法人 災害救助犬静岡

- ・救助犬がここにいるという事をこころ辺ではなく具体的に分かって吠え、隣にきて座るなどピンポイントで反応できるという事に驚いた。
- ・どんなに狭かったり暗かったりしても指導士の方が言われたら入っていくという救助犬がすごいと思った。
- ・要救助者を発見したら見つけてくれた災害救助犬をほめることがやっぱり大切なんだなと感じた。
- ・見つけたら吠える救助犬と伏せて報告する二つの種類があり場合によって変えると聞き凄いなと感じた。
- ・テレビで救助犬が出てきたら家族に話したい。
- ・犬が一生懸命探してくれているのが嬉しかった。
- ・テレビで活躍するところをたくさん見るからこそ間違っていた知識じゃなくて正しい知識を覚えることが大切だと感じた。
- ・犬はすごい生き物ですが、人間と同じで弱みもあるので大切にすべきだなと思った。
- ・犬はとても頭いいと人の匂いがすごくわかる。
- ・犬は暑い気候に弱いけど寒い気候は強い。
- ・風の向きによって匂いの方向も変わってしまい実際の現場だともなすごく大変だと思った。
- ・実際の現場だと一匹の救助犬で判断するのではなく複数の救助犬がいた場所をまとめているだろう場所を消防署などに伝えることを知った。
- ・警察犬と救助犬にはどんな違いがあるか知らなかったが、今回の体験を通して知ることができて良かった。
- ・自分達が隠れて犬が探している姿を見て犬がどのように探しているのか知ることができた。
- ・犬の種類はなんでも救助犬になれるので良く教えてくれたら何でも災害救助のできる犬にな

れる。

NPO法人 アートコラールきくがわ

- ・記事の書き方が分かった。
- ・子ども達と接する力。コミュカ。
- ・日本の英語教育と違ってインプットばかりではなく、アウトプットも多かった。

NPO法人 うまのあと

・毎年参加していますが、その団体ごとの想いに触れられたり、コミュニケーションを深めるいい機会と感じているのでNPO以外のボランティアにも参加してみたいという気持ちが強まった。

NPO法人 傾聴・お話しボランティア

- ・ボランティアへの心構え。
- ・傾聴で大切なこと。

NPO法人 里山再生クラブ

- ・初めの竹林と整備作業後の竹林とでは、山の地面の見え具合や日が当たる面積が違った。
- ・竹林を整備することが森の再生へつながることが今回の活動を通して実感できた。
- ・竹林の整備には時間と体力が必要であるため、活動に参加する若者や人材が増えなければならぬと感じた。
- ・蚊がいる場所と蚊がいない場所があるらしく今回はいない場所で作業ができたが、いる場所でやったらとても大変そうだなと思った。
- ・竹が腐るまでに10年もかかり、活用方法もいろいろあるという事だったので今後小道具などを利用できたらしてみたいなと思った。
- ・竹の効率のいいとり方や竹をどのように撲滅するのかを知り、大変なところややりがいを感じて進路やこれからの人生において感じた気持ちを忘れず、知ったことはしぜんたいの活動で活そうと思った。
- ・竹を取るまでは尾根道が竹や草で生茂っていて、本当に自分たちで道ができるか半信半疑だったが、やり始めるにつれて道が開けて最後にはしっかりした道ができた。これが森林で働くやりがいなんだと思った。
- ・若い竹は切りやすくて細いけど、年が増すと切ることが難しくなること。

- ・竹灯籠のライトづくりのためには、竹の太さが必要なために切るのが大変そうだなと思った。

NPO法人 静岡県教育フォーラム

- ・NPOだけでなく今後日本の地域で外国人が多い場所では、外国人の子どもに対する教育課程を考え直さなければならない。

- ・学校にも外国人がいるので困っていたら、積極的に話しかけたり、一緒に勉強したりしたい。

- ・子どもとの接し方で悪いことはしっかり謝るように言っていて誰と接するときも謝ることやありがとうとしっかり言うことが大切だと気づいた。

- ・裁断機で紙を切るときは線を合わせやすいようにするといいと思う。

NPO法人 小規模多機能ホームようこそ

- ・色々な方がいらっしゃり足の悪い方や、良くお話をしてくださる方がいらっしゃった。

NPO法人 生活支援施設かすみ草

- ・特に印象に残ったのは紙芝居を読んだこと。今まで学校では読んだことはあったが、子どもの前で読むのは初めてだったので良い経験になった。

- ・みんなの前で紙芝居を読んだことが印象的だ。保育技術検定の学習で身につけたことを活かせることはとても嬉しく、次の自信にもなったと思う。また、実際に働く保育士さんを見ることが出来、勉強になった。

- ・子どもの目線で物事を考えることで、うまくコミュニケーションをとれることを学んだ。

- ・「気軽に話せる子と話せない子がいた。中には自分から挨拶をしてくれる子もいた。

NPO法人 せんがまち棚田倶楽部

- ・最近では外来種の影響により在来種の存続が脅かされていたり、法律が多くできていることを知り、もっと知ってみたいと思った。

- ・ボランティアを通し様々な人とふれあったりお話を聞いたりすることで、自分の知らなかった世界を知れたり、自分の興味のある分野に精通している人と関わることができて凄く刺激をもらった。

NPO法人 ソヒゾ・デ・クリアンサ日旧交流協会

・私は日本語しか話すことが出来ないのですが、最初は子どもたちとコミュニケーションを取ることが出来るか不安だったが、子どもたちがあたたかく迎え入れてくれて、とても楽しかった。教えた後に「ありがとう」と言ってくれたこともとても嬉しかった。

・ゲームをやるなど、日本ではやらないことを学べた。また、しりとりなどを子どもたちとやり交流を深められた。

・一緒にしりとりやゲームことが印象に残った。

・今後もまたこういう活動に参加してみたい。

・子ども達とみんなでゲームをしたことがとても楽しかった。

・授業の最後にしりとり対決をしたのが面白かった。

・言語がうまく伝わらなくても楽しめる！

・しりとりゲームで同じチームになった子と凄く仲良くできたので嬉しかった。

・言葉が通じにくくても気持ちはしっかり通じていることが分かった。

・私もいろんな国の言葉が話せるようになったら、こう話したことも通訳がいなくても会話をすることが出来るのだと感じ、ポルトガル語の勉強をしたいなと思った。

・色々な人と話すことの難しさを感じた。

・高校生だと英語がペラペラですごいなと思った。

・自分から初めてのことに挑戦したことは自信につながったので、今後他のボランティアにも活かしていきたい。

・人とのかわりは凄く楽しくて、大事なものだと思えて感じた。

・ブラジル学校に通っていて、こんなに日本語を頑張っている子どもがいることに驚いた。

・子どもたちはみんなとても明るくて元気で楽しかった。

NPO法人 COCO

・何かあったら障がい者にその都度聞くことが大事。

・視覚障がい者の体験をさせて頂いた時、目が見えないことの大変さと怖さに気づいた。

・アイマスクをして視覚障がいの方と同じような体験をさせていただき「怖さ」「不安さ」に気付くことができた。

4. 今後体験してみたいNPO活動やボランティア活動があれば教えてください。

認定NPO法人 災害救助犬静岡

- ・災害時に携わる活動
- ・人を笑顔にできる活動がしたい。
- ・また救助犬の活動をやりたい。
- ・今回と同じ活動。

NPO法人 アートコラールきくがわ

- ・日本語サポート

NPO法人 傾聴・お話しボランティア

- ・実際に傾聴をしてみたい。

NPO法人 里山再生クラブ

- ・チラシに乗っていたものだと災害救助犬の訓練体験、情報発信のコツを知って記事を作成しよう、せんがまちで畦草刈りと生き物教室の体験の3つ。
- ・科学が好きなので自然、料理、清掃などを目的とした活動があれば参加してみたいと思った。

NPO法人 静岡県教育フォーラム

- ・もう一度やりたい。
- ・認知症サポーターの講座に参加したい。

NPO法人 小規模多機能ホームようこそ

- ・老人ホームみたいなボランティア。

NPO法人 生活支援施設かすみ草

- ・保育のボランティアがあれば参加したい。
- ・保育系のボランティアに参加したい。
- ・今回のような保育系のボランティア。
- ・介護士と保育士で悩んでいる為、介護系か保育士系のボランティアがあれば参加したい。

NPO法人 せんがまち棚田倶楽部

- ・自然環境について、社会問題・国際問題に関する活動に参加していきたい。

NPO法人 ソヒゾ・デ・クリアンサ日旧交流協会

- ・またこの学校に行きたい。外国人の子ども達への日本語サポート。
- ・もう一度ブラジル人の子どもの日本語教室をやりたい。外国人の子ども達への日本語サポート。
- ・この活動をもう一度やりたい。
- ・この活動をもう一回やりたい。

NPO法人 COCO

- ・障害を持っている方とふれあう音ができる活動。

V. 実施団体アンケート

1. 中高生体験セミナーを実施しようとした理由や目的を教えてください。

認定NPO法人 災害救助犬静岡

- ・毎年恒例の行事となっており、救助犬を知ってもらい体験してもらういい機会になる。
- ・将来的に救助犬に興味や意義を持っていただけたら、次世代へつなげる良い機会になると考える。

NPO法人 アートコラールきくがわ

- ・日頃、市民協働センターの運営をする中で、市民団体は活動と同時にその活動を伝え広める情報発信の重要性を感じている。中高生にも“人に伝える”ことの難しさや楽しさを実感してほしかったから。

NPO法人 うまのあと

- ・法人単体で参加者を募集かけてもなかなか集まらないため、実績作りにつながる。また、参加者が明確な目的を持って参加してくれているので説明等するにしてもとてもやりがいがあるから。

傾聴・お話しボランティア

・これから社会を担う若者に寄与する精神、人との係りの中で自己形成能力を身につけて欲しい。相手を理解するコミュニケーション法を身につける事を願って。

NPO法人 静岡県教育フォーラム

市内に外国人が多く住んでいること、その子どもたちが公立小中学校へ入るための努力をしていることを同世代の中高生に知ってほしかった。また、子ども達にも同世代のお兄さん、お姉さんと知り合ってほしかった。

NPO法人 小規模多機能ホームようこそ

・世代間交流の機会を持つことは、学生のみならず利用者やスタッフにとってもいい刺激となった。

NPO法人 生活支援施設かすみ草

・中高生のみなさんに将来の夢や希望を持ってほしいことそして将来就きたい職業の一助になればと思う。

NPO法人 せんがまち棚田倶楽部

・私たちは子ども達に棚田の美しさと人も自然の一部として生きている里山の生物多様性、そして棚田を未来につなげるという事を掲げている。このセミナーを通じ私たちの活動を知ってもらういい機会ととらえ、また共に活動している静岡大学棚田研究会の学生と同じ世代として棚田で活動する思いを参加者が大学生と共有することで、私たちの活動を身近に感じて頂きたいという思った。

NPO法人 ソヒゾ・デ・クリアンサ日旧交流協会

・一人でも多くの中高生にブラジル人学校の存在を知ってもらい、身の回りの人たちに自分が体験したことを話していってもらいたい。

NPO法人 COCO

障がい当事者との交流と災害時の対応についての啓蒙。

2. 中高生NPO体験セミナー実施の目的は達成できたと思いますか。またその理由を教えてください。～達成できた理由～

NPO法人 アートコラールきくがわ

・高校生たちが取材したからこそその情報を持ち帰り記事にしてくれた。取材も記事作成も苦労しながらも楽しそうに取り組んでくれた。

NPO法人 うまのあと

・参加者のみならず実施側としてボランティアスタッフの方々もこのような子どもたちと一緒に社会活動をすることで、スタッフ同士のコミュニケーションの向上やモチベーションにもつながったと思う。

NPO法人 傾聴・お話しボランティア

・感想文を読ませていただき実感できた。また、講話後に質問する内容が十分に目的に応じたことだった。

NPO法人 小規模多機能ホームようこそ

・まずは、一人で参加する勇気が素晴らしい。色々な個性がそれぞれの場所で生きていく事は相互に有効だと思う。

NPO法人 生活支援施設かすみ草

・参加された皆さんはそれぞれに目指している職業があり、それを達成するため少しですが手助けできたと思う。

～ほぼ達成できた理由～

認定NPO法人 災害救助犬静岡

・今年は例年になく猛暑が続いており、体験者にとっても熱中症を危惧する天候が続いた。学生さんらは、積極的に活動に関心を持ち、特にふれあいでは楽しんでいただけたと思う。アンケートへも好感をもっていただけた感想が多く嬉しかった。

NPO法人 静岡県教育フォーラム

- ・子ども達と上手に関わってくれる子が多かったから。また、教え方がわからない時には「分からない」と行って聞いてくれた子がいたから。

NPO法人 ソヒゾ・デ・クリアンサ日旧交流協会

- ・生徒たちと関わって色々な話をしたり、一緒に学習したりして個々の生徒たちの現実を知ってもらえた。

～あまり達成できなかった理由～

NPO法人 COCO

- ・メニューが盛り沢山だったため、時間が短かった。
- ・準備不足で不十分な対応になってしまった。

3. 参加者の反応など気付いた点や、今後に活かしたい点がございましたらご記入ください。

認定NPO法人 災害救助犬静岡

- ・救助犬の活動の特性上、アウトドアで自然の中での活動となる為、苦手な虫もいるがなるべくこちらで取り除きながら配慮した。若い世代の方々に、この会で活動してくれることを希望し、そうなればうれしいと思う。

NPO法人 アートコラールきくがわ

- ・スライドの作成について知りたいという感想があった。今後、高校生がスライドを使って発表する場面が増えてくると思うので今後の取り組み内容の参考にしたい。

NPO法人 うまのあと

- ・動物が好きという理由以外にも、今後の進路や生きかたを考えて参加してくれる中高生もいると思うので、どうしてこのような活動をしているのかなど、気持ちの部分もしっかりと伝えていきたい。

NPO法人 傾聴・お話しボランティア

- ・初対面の学生、一般者でしたので各自の自己紹介から始めた。

- ・人数が少数でしたから出来たことだと思う。

NPO法人 静岡県教育フォーラム

・事前に体験セミナーに向けての研修等があるため、中高生は毎年スムーズに活動することができる。私たちの教室は語学力を必要としないため、その力を発揮したかった参加者にとっては少し物足りなかったかもしれない。

NPO法人 小規模多機能ホームようこそ

・短い時間の中でなるべくいいスタートができるように配慮してあげたいと思うが、時には十分でない時がある。今後を活かしていきたいと思う。

NPO法人 せんがまち棚田倶楽部

・今回一般の参加者も多く私たち事務局と話をする時間は取れなかった。その分、大学生との交流する時間は取れたが、興味を持って参加してくれた中高生たちともっと話をしたかったと反省している。

NPO法人 ソヒゾ・デ・クリアンサ日旧交流協会

・ここにきて子どもたちと一緒に学習してくれた上に、とても楽しかったと目を輝かせて喜んでくれた。ブラジル人学校の生徒たちも積極的に関わってくれた。

NPO法人 COCO

- ・特にアイマスク体験が新鮮だったような気がした。
- ・アンケートの内容が想像以上に濃くて嬉しく思った。
- ・時間配分など明確に準備したい。

4. 今後の中高生NPO体験セミナーに向けて実施方法などについてのご意見をお聞かせください。

認定NPO法人 災害救助犬静岡

・活動開催の関係上、夏休みの期間に体験だと暑さとの戦いになりますが、今後も協力できると思う。

NPO法人 うまのあと

- ・今回の実施方法で満足している。

NPO法人 静岡県教育フォーラム

- ・私たちの教室の生徒は、日本の小中学校で日本語を使い、学習するために日本語のみでの指導をしている。そのあたりをご理解いただけるよう、募集段階で説明できたと思う。

NPO法人 生活支援施設かすみ草

- ・参加を希望される方はある個性を感じる。その個性が活かせるようにバタバタの受け入れではなく余裕を持って受け入れていく事が大切だと思う。活動内容についてももっと計画性のあるプログラムが必要かもしれない。関係機関の連携とフォローアップが重要だと思う。
- ・最後に「皆さんとあまりおしゃべりできませんでしたが、楽しかったです。」とご利用者に向けて挨拶して下さった。まずは、楽しいと感じることが一番だと思う。一人で参加された勇気も凄いことだと思う。ご利用者も若い方と接しパワーをもらい、職員も良い刺激と勉強になった。

NPO法人 せんがまち棚田倶楽部

- ・受け入れ側としては参加する子供たちが何に興味があって参加しているのかを知る必要があると思う。それを知らずに体験だからと言って押し付けていたら子どもたちにとって期待外れになる場合が多いのではないかな。

NPO法人 ソヒゾ・デ・クリアンサ日旧交流協会

- ・男子学生にも参加してもらいたい。

VI. 所感

今回のNPO体験セミナーは、前年に比べ、参加人数が減少した。現在、高校で行われている探求学習や、コロナの影響がなくなり、部活動などが再開されたことが原因ではないかと考えられる。今後は学校、特に探求学習の授業との連携も視野に入れて企画をしていきたい。また、申し込みに関しては、事務面を効率化するため、第一希望のみを聞いた。参加者の振り分けに関しては、大きな改善が見られた。同時に複数のNPOに参加したいという学生のニーズには対応できなかった。事務面での効率化を図りながらも学生のニーズにより添えるような形で来年度は実施していきたい。